

氏名	大 森 弘 之		
学位の種類	医 学 博 士		
学位授与番号	甲 第 7 8 号		
学位授与の日付	昭和37年 3 月31日		
学位授与の要件	医学研究科外科系皮膚科泌尿器科学専攻 (学位規則第5条第1項該当)		
学位論文題目	皮膚疾患と肝機能に関する研究		
論文審査委員	教授 大村順一	教授 谷奥喜平	教授 小坂淳夫

学 位 論 文 内 容 要 旨

肝機能と皮膚病変の相関の一端を解明する目的で、まず、臨床的に各種皮膚疾患々者に肝機能検査を施行し、163例中53例(32.5%)に肝障害を認め、対象とした疾患群のほとんどすべてに肝機能の異常例を証した。次に、動物実験的に、クロトン油皮膚炎家兎、肝障害人工皮膚炎家兎を対象として、その肝機能の変動について追求し、人工皮膚炎家兎においては軽度ながら肝障害を証し、肝障害人工皮膚炎家兎にあっては、肝障害のみを惹起せしめた対照群家兎に比し、全経過を通じて肝障害度は高度であつた。続いてこれら家兎に副腎皮質ホルモンを投与して、その肝機能に及ぼす影響を検索したが、まず人工皮膚炎家兎に於ては、コルチコイド投与期間中、明らかに肝障害は陽性度を減じ、肝障害人工皮膚炎家兎に於てもコルチコイド非投与群に比し、肝障害は低く抑えられ、該ホルモン投与の肝機能に及ぼす好影響が観取された。

1. 日本皮膚科学会雑誌 第72巻第6号掲載予定
2. 岡山医学会雑誌 第74巻第1, 2, 3合併号掲載予定

論文審査の結果の要旨

大森弘之提出の「皮膚疾患と肝機能に関する研究」に関する学位論文につき審査した結果の要旨は次の通りである。

著者は肝機能と皮膚病変の相関の一端を解明する目的で、まず臨床的に各種皮膚疾患々者に肝機能検査を施行し、163例中53例(32.5%)に肝障害を認め、対象とした疾患群のほとんどすべてに肝機能の異常例を証した。次に動物実験的に、クロトン油皮膚炎家兎、肝障害人工皮膚炎家兎を対象として、その肝機能の変動について追求し、人工皮膚炎家兎においては軽度ながら肝障害を証し、肝障害人工皮膚炎家兎にあっては肝障害のみを惹起せしめた対照群家兎に比し、全経過を通じて肝障害度は高度であった。続いてこれら家兎に副腎皮質ホルモンを投与して、その肝機能に及ぼす影響を検索したが、まず人工皮膚炎家兎に於ては、投与期間中明らかに肝障害は陽性度を減じ、肝障害人工皮膚炎家兎に於てもコルチコイド非投与群に比し、肝障害は低く抑えられ、該ホルモン投与の肝機能に及ぼす好影響が観取された。

以上の通り本論文は新しい知見に富み、学術上有益であり、著者は医学博士の学位を授与せられるべき学力を有すると認める。